

令和元年度 学力向上プラン

深谷市立榛沢小学校

R
分析

全国学力・学習状況調査より

- ・国語では、1文の文章を読み取り、接続詞を使って2文にする問題と調査の内容と結果から分かったことをまとめて記述する問題に課題があった。
- ・算数では、減法の計算の仕方や減法の式が示された形の面積を理解し、記述する問題に課題があり、最後の問題では、無回答が2割いた。

埼玉県学力・学習状況調査より

- ・小学校4年生：国語の敬体・常体に書き直す問題と2段落構成で書く問題（どちらも記述式）に課題があり、文を読み返させたり、条件に沿って自分の考えを書いたりする形式に慣れるため、全教科で意識的に取り組む。算数では、文章を読み取る除法の問題に課題があり、数量関係を復習し理解させる。
- ・小学校5年生：国語の主語・述語・修飾語・被修飾語を理解する問題と2段落構成で書く問題に課題があり、目的に応じて自分の考えを書く形式に慣れさせる。算数では、長方形の縦と横の長さの関係を式で表す問題に課題があり、伴って変わる2つの数量関係を復習し理解させる。
- ・小学校6年生：国語の文の主語を書き抜く問題と2段落構成で書く問題に課題があり、文の構成を理解させたり、資料を根拠にしながら自分の考えを明確に書いたりする形式に慣れさせる。算数では、分数の乗法除法と体積の何倍、図形の周りを求める問題に課題があり、それぞれ復習し、理解を深めていく。

NRTより

- ・上位層は2割で、最上位層は少ない。アンダーアチーバーは1割程度である。
- ・国語では、文学的な文章を読み取ることに課題があり、算数では、ほとんどの問題が全国平均を下回った。

【令和4年度までの目標】

- 全国学力・学習状況調査の平均正答率において、すべて県平均を上回る。
- 県学力・学習状況調査の平均正答率において、すべて県平均を上回る。
- NRT・NINOで偏差値50を上回り、アンダーアチーバーをゼロにする。

【来年度に向けての数値目標】

国語	伸びた児童の割合			県平均との差			学力レベル		
	H30	H31	R2	H30	H31	R2	H30	H31	R2
4年					↓1.7	↑1.5		5-A	6-B
5年		-2	1	↑6.4	↓2.7	↑1.5	6-A	6-C	7-C
6年	1	3	4	↑2.1	↑2.6	↑3.0	6-A	7-A	8-B
算数	伸びた児童の割合			県平均との差			学力レベル		
	H30	H31	R2	H30	H31	R2	H30	H31	R2
4年					↓0.4	↑1.0		5-B	6-B
5年		3	4	↑0.4	↓0.4	↑1.0	5-B	6-B	7-C
6年	4	1	3	↑4.1	↑2.1	↑2.1	6-A	7-C	7-A

ゴール

【次年度に向けての重点計画】

- ・下位層の児童には、「ふっかちゃん夕焼け道場」と連携するなどし、基礎基本の定着を図り、自信・意欲を持たせ、底上げを図る。
- ・上位層を増やすために、自分の考えを発表するだけでなく、友達考えを説明したり、発展問題に取り組ませたりする。
- ・校内グッドプラクティスを分析・研修し、相互授業参観を行い、授業力を高める。
- ・過去問題を授業や家庭学習に取り入れる。
- ・前学年の復習を家庭学習でも取り入れ、児童の躓きに気づいたり、支援したりすることで基礎基本を大切にする。

8月

校内研修（本校の課題の共通理解・全教職員で全学調問題確認）

校内のグッドプラクティスの分析・検証

9月

校内研修（校内のグッドプラクティス）

教科部会
各教科の取り
組み（全学調を
意識した授業）

10月

ふっかちゃん夕焼け道場

校内相互授業参観（学力向上の取
組みを参観）

朝
学
習
の
実
施

全
国
学
力
テ
ス
ト
を
意
識
し
た
授
業
の
実
施

家
庭
学
習

ウ
ィ
ー
ク
エ
ン
ド
チ
ャ
レ
ン
ジ
プ
リ
ン
ト

読
書
旬
間

11月

校内研修で報告・共通理解

12月

学力向上研修（書く問題を取り
入れたワークシートの作成）

基
本
問
題
の
反
復

1月

校内漢字検定テスト

2月

書く問題を取り入れたワーク
シートの実施

3月

校内相互授業参観（学力向上
の取り組みを参観）

国語・計算の朝学
習（週1回）
コバトン問題集・
復習シートを引
用。

校内漢字検定テスト

書く問題を取り入れたミニテ
ストの報告・共通理解